

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)横浜トヨペット茅ヶ崎駅前サービスセンター新築工事	階数	地上2F
建設地	神奈川県茅ヶ崎市萩園字上ノ前3883番、3935番、3936番、3937番、3938番、3939番	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	30人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年1月 予定	評価の実施日	2022年4月12日
敷地面積	6,182㎡	作成者	株式会社アークカインド設計室
建築面積	2,285㎡	確認日	2022年4月14日
延床面積	2,576㎡	確認者	株式会社アークカインド設計室

外観/バース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値 ② 建築物の取組み ③ 上記+②以外の ④ 上記+

92 (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.7

音環境	3.0
温熱環境	2.3
光・視環境	2.6
空気環境	3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

機能性	2.9
耐用性	3.0
対応性	3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.4

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	2.0

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.9

建物外皮の	N.A.
自然エネ	3.0
設備システ	2.9
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8

水資源	3.4
非再生材料の	2.6
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

地球温暖化	3.3
地域環境	2.5
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	地域の特性に合わせて周辺地域と調和のとれたデザインとなるように配慮した。内部は効率的に業務が行えるよう柱のない大空間となるように配慮した。	その他 0
Q1 室内環境	F☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用することで化学汚染物質の発生源対策に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 30%を超える外構緑化を行うことで生物環境の保全と創出に配慮した。
Q2 サービス性能	電源設備、精密機器の地下への設置を避け水浸での停電、通信設備の損傷を避け災害時の信頼性に配慮した。	LR3 敷地外環境 使いやすく、十分な台数の駐車・駐輪スペースを確保し、荷捌車両スペースも計画することで周辺の交通負荷抑制に配慮した
LR1 エネルギー	照明器具にLEDを採用することで設備システムの効率化に配慮した。	
LR2 資源・マテリアル	省水型機器を採用することで水資源保護に配慮した。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される